

東清小学校について

○統合先について

番号	内容	回答
1	統合先は、なぜ南清小なのですか。(3件)	東清小学校は「隣接校との統合が妥当であるとする」との答申を受け、進学先の中学校、旧清川村の地域性、通学距離等を総合的に考慮した結果、南清小学校が最適であると考えました。

○通学及び通学距離について

2	統合した場合、通学距離が4キロを超える児童は何人いますか。また、通学方法はどのように考えていますか。(7件)	南清小学校までの距離が4キロ以上ある児童が現在12名おり、最も遠い児童で5.3キロあると把握しています。スクールバスの利用も含め、すべての児童が安心・安全に通学できるように、最善の通学方法を検討していきます。
3	統合した場合、通学が心配です。スクールバスは出さないのですか。(5件)	
4	学校が遠くなり、何かあった時に対応するのが大変になります。(6件)	緊急時の引き渡し等は、現状と変わらない対応をお願いします。

○跡地に関わることについて

5	災害の際の緊急避難場所はどうなりますか。(2件)	東清小学校は、現在避難所に指定されていますが、緊急避難場所としての今後のあり方については、関係部局と協議・調整していきます。
6	跡地の活用についてアイデアがあります。(「地域交流センター」「病院」「老人ホーム」「博物館」「公民館」「文化的用途に近い形で利用」)(4件)	跡地の活用につきましては、有効活用すべく、地域の皆様のご意見を含め、検討していくこととなります。
7	小規模校として様々な取り組みを行い、児童を増やすべきだと思います。(8件)	東清小学校は、平成24年度から小規模特認校に指定し、様々な取り組みを行ってきましたが、大幅な児童数増加には至りませんでした。このような状況から、必要な学級数に達することは難しく、児童の教育環境の更なる向上を考慮すると、隣接校との統合が妥当であると考えます。
8	学区外などから、東清小学校へ通ってもらえるようにアピールしてほしいのですがいかがですか。(6件)	小規模特認校であることは、市や東清小学校のホームページ等で周知してきましたが、これまでの状況を見ても、必要な学級数に達することは難しいと考えています。
9	少人数で子どもたち同士、協力、助け合うような学校でもよいのではないのでしょうか。(1件)	「児童生徒の人間関係が深まりやすい」「異学年間の縦の交流が生まれやすい」というのが小規模校のメリットですが、同時に「人間関係や相互の評価等が固定化しやすい」「切磋琢磨する機会等が少なくなりやすい」等のデメリットがあります。学校が本来もつ特長を考慮すると、集団の中で多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会を多くするためには、複式学級の解消が必要であり、統合を検討すべきと考えています。
10	統合して児童数が増えることで、先生方の目が行き届かなくなったり、勉強についていけない子が出てきたりするのではないかと心配です。(6件)	「児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていく」という学校の特長を踏まえると、大きな集団の中で、多くの仲間と接することが、子どもの成長過程においては、とても大事なことだと考えています。児童の生活面や学習面の悩みや心配については、学校や教育委員会が、全力を挙げて解消に努めます。

○説明会/説明会に係る文書について

11	意見公募を延ばさなかった理由は何ですか。(5件)	保護者や地域の皆様への説明が第一と考え、意見公募期間中に説明会を予定しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から延期をさせていただきました。今後、8月3日(月)に改めて説明会を開催し、詳しく説明させていただく予定です。
12	コロナウイルスが収まるまで計画を停止してください。(1件)	
13	説明会を実施して、きちんと説明をしてください。(9件)	

○統合について

14	統合せず、学校を残してほしいです。統合の理由を教えてください。(32件)	児童数の急激な減少や、複式学級の発生等の課題を解消し、児童の教育環境の充実を図るためには、隣接校との統合が妥当だと考えています。
15	2年後に統合は、早すぎるのではありませんか。(4件)	児童数の減少により、令和3年度には複式学級が発生し、令和4年度には4学年、令和7年度には全学年に複式学級が及ぶことを考慮しました。
16	学校が遠くなることで、地域の協力が得られなくなってしまうのではありませんか。(16件)	今後も地域の子どもたちには、様々な形でご支援、ご協力をお願いします。
17	統合先で子どもがなじみずにならなくなった場合、市では責任をとってくれるのですか。(1件)	学校と教育委員会は、児童や保護者が抱える不安を解消できるよう、相談に応じます。また、事前に統合先の小学校との交流活動を活発に行うなど、スムーズに統合先の児童等とうち解けられるように準備期間を設ける予定です。
18	予算的な考えで学校をなくしてほしくありません。(2件)	今回の実施計画は、あくまでも児童生徒の教育環境の充実を第一に考えて策定しました。
19	教育環境等を考えると、統合もやむを得ないのではないかと思います。(2件)	今後も児童の豊かな学びを支援するために、教育環境の充実に努めます。

○実施計画(素案)について

20	1年生の人数は2人ではなく3人ではありませんか。何に基づいて作成されたデータなのですか。(1件)	令和元年5月1日現在の住民基本台帳によるため、小規模特認校制度を活用して通学している児童数は含まれていません。
----	--	---

○東清地区に関わることについて

21	市営住宅を建て直すなどして、入居促進を行ってもらえませんか。(4件)	現在の市営住宅(9団地)は「木更津市公共施設再配置計画」において中期的(20年)には廃止とすることが示されています。全9団地のうち東清団地を含む5団地については「木更津市営住宅長寿命化計画」により、点検、改修などを行い、維持管理、運営をすることとしています。
22	都市計画から見直しをしてもらえませんか。(2件)	市街化調整区域は、市街化を抑制すべき区域として都市計画法に基づき定められた区域です。また、本市が定めた「市町村の都市計画に関する基本的な方針」においても、市街化調整区域については、原則として新たな市街地の拡大を抑制しています。 しかし、人口減少による既存集落の衰退等が課題になっていますので、市街化調整区域についてゾーン区分を行い、各ゾーンの土地利用方針に基づき、適切な土地利用を図っていきます。
23	市街化調整区域の見直しはできませんか。(2件)	
24	東清地区は今後、人が増えると思います。若い人に住んでもらえるよう対策を立て、児童数を増やすことはできませんか。(6件)	本市も、数年後には人口減少局面を迎えることが想定される中、持続可能なまちづくりを推進する過程で、地域特性を生かした施策展開を検討していきます。
25	東清地区の将来ビジョンを提示していただけますか。(1件)	
26	小学校がなくなるとだんだん過疎化していくのではないかと心配です。(1件)	

○東清小での取り組みについて

27	東清地区の田畑を使って稲作体験などを行い、作った物を給食で使うなど、オーガニックなまちづくりの一環として、食育を行ってはどうか。(2件)	市内全小学校は、オーガニックなまちづくりを目指して食育に取り組んでいます。また、東清小学校は、小規模特認校として田植え体験などを行った経緯があります。
28	東清小は小規模ならではの活動があり、少人数で目の行き届く学校です。また学校と地域の連携・協働関係もあり、子どもたちが活躍できる場もあるよい学校です。(4件)	東清小学校は、小規模校の利点を生かし、地域の皆様から多くのご支援、ご協力をいただきながら学校経営がされていると認識しています。しかし、学校が本来もつ特長を考慮すると、集団の中で多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会を多くするためには、児童数の急激な減少や、複式学級の発生等の課題を解消し、教育環境の充実を図る必要があることから、隣接校との統合が妥当だと考えます。

○小規模特認校に関係することについて

29	小規模特認校がどのようなものなのか、理解されていないと思います。もっとアピールして、知らせるべきではないでしょうか。(7件)	東清小学校の小規模特認校制度については、これまで市や東清小学校のホームページへ掲載するなどして、周知を図ってきました。そのため他地区から通学している児童も一定数在籍しています。
30	小規模特認校制度を活用して通っている子への対応はどのようにになりますか。どの小学校、どの中学校に通うことになりますか。(3件)	児童一人一人が最善の転学、進学ができるよう、学校や教育委員会が個別に相談に応じます。
31	東清小学校に小規模特認校で通っている児童の割合はどれくらいですか。(1件)	全校児童54名中、8名の児童が小規模特認校制度を活用して通学し、その割合は約15%です。
32	なぜ小規模特認校として東清小学校ではなく、中郷小学校を紹介するのですか。(1件)	小規模特認校を希望される方には、どちらの小学校も紹介しています。

○統合の周知について

33	統合することを知らませんでした。窓口に行きましたが、知らせてもらえませんでした。(3件)	東清小学校は、平成23年10月に教育委員会が策定した「木更津市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」で、「児童数の推移を見ながら統合を含めて検討する」とされ、以降小規模特認校に指定し、児童数の推移を注視してきました。しばらく60名前後で推移していましたが、令和元年10月の審議会では、今後の急激な児童数減少が見込まれることから、「東清小学校は隣接校との統合が妥当である」とする答申が出されました。これを受けて教育委員会は、令和元年2月策定の基本方針で「児童数の推移を見ながら統合を検討する」とし、同年3月に「統合を実施する」との実施計画案を策定するに至りました。
34	保護者や地域に統合のことを知らせるのが遅すぎませんか。話が急すぎだと思います。(6件)	
35	東清小学校に入学する際、「2年後には統合かもしれないが大丈夫か」という話はされませんでした。(1件)	
36	小規模特認校等に申請する際、統合の話を聞かされませんでした。(5件)	
37	東清小地区に関係のある人たちに何の説明もなく、勝手に話を進めていると思います。(2件)	

○学童保育について

38	学童保育サンシャインクラブはさまざまなことができるし、いろいろなことを学べます。先生方も仲間たちもとてもよいです。ぜひ存続させてください。(35件)	現在、東清小学校の余裕教室を使用している「学童保育サンシャインクラブ」の統合後の運営等につきましては、どのような形で継続することが可能かを、関係者と相談・協議していきます。
39	学童保育と学校を一体の考えで再編成できないか検討してほしいです。(1件)	
40	学童に通う児童に対して、何の説明もないのはなぜですか。(2件)	他校からサンシャインクラブへ通う児童の保護者へも、説明会の開催文書を配付しました。

○その他

41	適正規模等審議会の委員に、なぜ東清小学区の人がないのですか。(1件)	適正規模等審議会の委員は、条例に基づき、学識経験者や保護者代表などを選出しています。
42	統合するなら南清小の名前を変えてほしいです。(1件)	十分な議論が必要だと考えています。
43	統合するのであれば、相手校との交流の場を事前に設けていただきたいです。その場合、子どもたちにアンケートをとり、その意見を尊重してほしいと思います。(2件)	両校の交流を計画的に行い、児童が戸惑わずに学校生活が始まるよう、最大限の配慮に努めます。
44	令和3年度の新入生は、東清小学校に入学するのですか。(1件)	原則は東清小学校に入学となりますが、実施計画を丁寧に説明し、様々な選択肢を提示した上で、相談に応じたいと考えています。
45	コミュニティスクール等を導入してはどうですか。(1件)	実施計画案にあるとおり、東清小学校は統合を検討すべきとしていますので、コミュニティスクール等に指定することは考えていません。
46	今よりも学校の特色を持たせるため、教育実践モデル校指定事業などを取り入れることはできませんか。(1件)	
47	学区変更をして、児童を増やしてほしいです。学区変更を今まで検討してきましたか。(13件)	適正配置の基本的な考えとして、人口急増地区については通学区の見直し、学校の新設、校舎増築など、また、人口減少地区における小学校での複式学級や中学校での学年単学級については、統合や小規模特認校への指定などにより、適正化を図ることとしています。
48	適正規模を維持すべく行ったことを教えてください。(1件)	
49	統合のメリット、デメリットなどを明示してください。(1件)	児童への直接的な効果として、「良い意味での競い合いが生まれた、向上心が高まった」「切磋琢磨する環境の中で学力や学習意欲が向上した」など、指導体制や指導方法等の効果として、「より多くの教職員が多面的な観点で指導できるようになった」「グループ学習や班活動が活性化した」などがあります。課題としては、「新たな生活の変化に対して配慮が必要である」「統合後の施設等を、どのように地域づくりに活用するのか」などがあります。